



バレー太田市職労 初全国制覇



超新星が冬の和歌山で躍進
全国大会優勝は群馬県勢で初

参加 239 単組の頂点に



決勝トーナメント
大会 3 日目

太田市職労 2-0 島根県職連合出雲

3 日で 6 試合の過密日程 前回王者・準王者を打ち破り栄冠掴む

2023 年 12 月 2 日 (土)～4 日 (月)、和歌山県「和歌山ビッグホールアリーナ」にて「第 32 回全日本自治体職員等女子バレーボール選手権全国優勝大会」が開催され、太田市職労 (太田市役所女子バレーボール部) が全国大会優勝を果たした。太田市職労は今回で通算 7 度目の全国大会出場。全国優勝大会は、コロナ禍の影響もあり 4 年ぶりの開催であり、予選を含めると全国から 239 単組 (チーム) が参加した。1979 年の第 1 回大会開始以来、群馬県勢の優勝は今回が初であり、関東勢の優勝は 1982 年の第 4 回大会の東京都職以来となる。

太田市職労は、大会初日の初戦の山口市 (山口県) に快勝すると、大会 2 日目の 3 連戦では藤枝市 (静岡県)、前回王者の松本市 (長野県)、熊本市 (熊本県) をそれぞれ打ち破った。大会最終日は準決勝で強豪・豊中市 (大阪府) を僅差で下し、決勝戦では県職連合出雲 (島根県) を打ち破り、優勝を勝ち取った。

太田市職労は、今回の優勝で、全国の自治体職員バレーボールチームのトップに立つ存在となった。今後もさらなる活躍が期待される。